

=====

としまコミュニティ大学ニュース

(2021.4.25 発行)

=====

新年度が始まりました！

としまコミュニティ大学の講座は、9月から開催予定です。

マナビト1年生の募集は、8月1日号の広報としまに掲載予定です。

詳細については、広報やHPでお知らせいたします。

新型コロナウイルス感染拡大が続く中、「学びを止めない」を合言葉に、としまコミュニティ大学は講座を開催しています。

先日、豊島区の知的障害者学習支援「日曜教室」のスタッフの方に、としまコミュニティ大学の講座のことで、日曜教室の受講生から質問があったそうです。

「2人で行った大学でのお話しも、コロナでしばらく中止ですか？」

日曜教室の受講生とは、知的障害のある成人の方です。

2人で行った大学とは、としまコミュニティ大学の講座です。

お話とは、大正大学での講座「企業博物館が担う地域の魅力創造とは？」の講義のことです。

企業博物館とは何か？という定義の話から、近年、地域の遺産の保存と活用やまちづくりへ参加して活動する企業博物館の話は、今回学んだことで訪れてみたいという感想が多くあった講義内容でした。

日曜教室の受講生は、目を輝かせて先生の話聞き、先生の問いかけには真剣に考え、とても満足な様子だったそうです。

また、講義が終了後には顔見知りのマナビト生との再会もあり、「地域の方とのつながりの大切さを感じた」と、日曜教室のスタッフの感想もありました。

NHK・Eテレ『バリバラ』に出演し、『生まれてきてよかった』（解放出版社）の著者の玉木幸則さんは、障害のある当事者です。

月刊『社会教育 障害者の学びーみんなちがって、一緒に生きる』（2021年2月号）のインタビューの中での玉木さんはこう言っています。

「社会教育施設もカルチャーセンターも障害者が入りにくい空気がつくられており、そうした既存の社会教育のインクルーシブ化、その排他的な雰囲気や再構築しなくてはならないのではないかと考えています。」

「学びたい」という気持ちは、誰にでもあること。

大学での「オープンカレッジ」も注目されています。

知的障害のある人に、大学の施設や教員・学生ボランティアなど大学資源を活用し、障害者の生涯学習を支援する取り組みです。

そして、としまコミュニティ大学も、障害のある人と、ともに学びあう関係を築いていくことが大切であり、求められていると思っています。

次回の発行は、2021年5月25日です。

発行：豊島区 学習・スポーツ課 生涯学習グループ

<http://www.city.toshima.lg.jp/bunka/shogai/kyodokoza/index.html>

としまコミュニティ大学事務局

住所：〒171-8422 豊島区南池袋 2 丁目 45 番 1 号
電話:03-4566-2762 (平日午前 8 時 30 分～午後 5 時 15 分)
ファクス:03-3981-1577
E メール: A0014606@city.toshima.lg.jp

■後援事業のお問い合わせは、主催者へ。

■豊島区内で開催されている講座の情報は「講座ほっとニュース」で！

としまコミュニティ大学ニュースとあわせて登録してみてもはいかがでしょうか。

登録は「豊島区ホームページ」からどうぞ。

※メールの配信停止を希望される方は、豊島区公式ホームページの「メールマガジン配信停止」から配信停止の手続きを行ってください。

アドレス：<https://www.city.toshima.lg.jp/kuse/koho/007058/033605.html>

Copyright(C) 豊島区 All right reserved

掲載記事の無断転載を固く禁じます。
